

一、会費 10,000円  
(同伴者 7,500円)  
二、場所 上野・精養軒  
三、日時 11月22日(金) 5時半開場  
四、開会の辞 武村隆二  
五、乾杯 片岡名詮会長  
六、歓談 岩本会長  
七、閉会の辞 卵木副会長  
八、校歌齊唱 アトラクション  
九、来期ホスト学年紹介(40年卒)

平成3年度の総明会(同窓会総会及び懇親会)のホスト学年は昭和39年卒業の「一一七会」(いいな会)が務めさせて戴きます。明治高校の創立記念日に当たる1/17に第一回の同期会を開いたことからこの名があります。総明会の名を辱めぬよう運営に当たりますので、ご協力よろしくお願いいたします。

本年の総会は、上野精養軒(JR上野駅下車徒歩3分)桜の間で行うことになりました。今春の新たな卒業生を加え、明治中学・高校の同窓生は14000名を越えようとしております。明治の名のもとに熱い青春時代を過ごしました多くのメンバーが一堂に集い、酒を飲みつながる楽しい一夜を過ごしたいと思います。当日はいつもいろいろな催し物なども企画中です。学生諸君も、各界でご活躍の皆様もお誘い合わせの上、ホスト学年一同、お待ちしております。

# 総明会

## 第27回総会のお知らせ

11月22日(金)午後6時より

上野 精養軒

〈桜の間〉  
でお待ちしております

奥様も一緒にどうぞ――

# 総明会会報

発行

明治中学・高等学校同窓会  
〒101 千代田区猿楽町2-4-1  
明治大学付属明治高等学校  
TEL (03) 3296-4555

発行人 / 専務理事大場隆之  
編集 / 昭和39年卒同期会

総明会

二十回総会で命名された。初代校長の鵜

沢総明先生のお名前をいただき、かつ明

中高同期会と同窓生の総体の連盟を意味するものである。

五十九年開催の第

明治中学校校歌

校歌

一、帝都の真中 駿河台  
遙に望む 富士のねの  
高き理想の 影追いて  
集る健児 いさましや

二、白雲なびく駿河台  
眉秀でたる若人が  
撞くや時代の暁の鐘  
文化の潮みちびきて

三、忠と孝との大糸を  
色どる正義 愛誠  
我等が胸をかざるべき  
大和錦の美ならずや  
我等が校の威を掲げむ  
我等が健児は天を呑む

四、世界に王たる日の本の  
國民の基と身をなして  
我等が校の威を掲げむ  
我等が健児の意氣をば知るや

三、忠と孝との大糸を  
色どる正義 愛誠  
我等が胸をかざるべき  
大和錦の美ならずや  
我等が校の威を掲げむ  
我等が健児は天を呑む

三、靈峰不二を仰ぎつつ  
刻苦研鑽他念なき  
我等に燃ゆる希望あり  
いでや東亞の一角に  
時代の夢を破るべく  
正義の鐘を打ちて鳴らさむ  
正義の鐘を打ちて鳴らさむ

五、忠と孝との大糸を  
色どる正義 愛誠  
我等が胸をかざるべき  
大和錦の美ならずや  
我等が校の威を掲げむ  
我等が健児は天を呑む

六、忠と孝との大糸を  
色どる正義 愛誠  
我等が胸をかざるべき  
大和錦の美ならずや  
我等が校の威を掲げむ  
我等が健児は天を呑む

七、忠と孝との大糸を  
色どる正義 愛誠  
我等が胸をかざるべき  
大和錦の美ならずや  
我等が校の威を掲げむ  
我等が健児は天を呑む

八、忠と孝との大糸を  
色どる正義 愛誠  
我等が胸をかざるべき  
大和錦の美ならずや  
我等が校の威を掲げむ  
我等が健児は天を呑む

九、忠と孝との大糸を  
色どる正義 愛誠  
我等が胸をかざるべき  
大和錦の美ならずや  
我等が校の威を掲げむ  
我等が健児は天を呑む

十、忠と孝との大糸を  
色どる正義 愛誠  
我等が胸をかざるべき  
大和錦の美ならずや  
我等が校の威を掲げむ  
我等が健児は天を呑む

十一、忠と孝との大糸を  
色どる正義 愛誠  
我等が胸をかざるべき  
大和錦の美ならずや  
我等が校の威を掲げむ  
我等が健児は天を呑む

十二、忠と孝との大糸を  
色どる正義 愛誠  
我等が胸をかざるべき  
大和錦の美ならずや  
我等が校の威を掲げむ  
我等が健児は天を呑む

十三、忠と孝との大糸を  
色どる正義 愛誠  
我等が胸をかざるべき  
大和錦の美ならずや  
我等が校の威を掲げむ  
我等が健児は天を呑む

十四、忠と孝との大糸を  
色どる正義 愛誠  
我等が胸をかざるべき  
大和錦の美ならずや  
我等が校の威を掲げむ  
我等が健児は天を呑む

十五、忠と孝との大糸を  
色どる正義 愛誠  
我等が胸をかざるべき  
大和錦の美ならずや  
我等が校の威を掲げむ  
我等が健児は天を呑む

十六、忠と孝との大糸を  
色どる正義 愛誠  
我等が胸をかざるべき  
大和錦の美ならずや  
我等が校の威を掲げむ  
我等が健児は天を呑む

十七、忠と孝との大糸を  
色どる正義 愛誠  
我等が胸をかざるべき  
大和錦の美ならずや  
我等が校の威を掲げむ  
我等が健児は天を呑む

十八、忠と孝との大糸を  
色どる正義 愛誠  
我等が胸をかざるべき  
大和錦の美ならずや  
我等が校の威を掲げむ  
我等が健児は天を呑む

十九、忠と孝との大糸を  
色どる正義 愛誠  
我等が胸をかざるべき  
大和錦の美ならずや  
我等が校の威を掲げむ  
我等が健児は天を呑む

二十、忠と孝との大糸を  
色どる正義 愛誠  
我等が胸をかざるべき  
大和錦の美ならずや  
我等が校の威を掲げむ  
我等が健児は天を呑む

二十一、忠と孝との大糸を  
色どる正義 愛誠  
我等が胸をかざるべき  
大和錦の美ならずや  
我等が校の威を掲げむ  
我等が健児は天を呑む

二十二、忠と孝との大糸を  
色どる正義 愛誠  
我等が胸をかざるべき  
大和錦の美ならずや  
我等が校の威を掲げむ  
我等が健児は天を呑む

二十三、忠と孝との大糸を  
色どる正義 愛誠  
我等が胸をかざるべき  
大和錦の美ならずや  
我等が校の威を掲げむ  
我等が健児は天を呑む

二十四、忠と孝との大糸を  
色どる正義 愛誠  
我等が胸をかざるべき  
大和錦の美ならずや  
我等が校の威を掲げむ  
我等が健児は天を呑む

二十五、忠と孝との大糸を  
色どる正義 愛誠  
我等が胸をかざるべき  
大和錦の美ならずや  
我等が校の威を掲げむ  
我等が健児は天を呑む

二十六、忠と孝との大糸を  
色どる正義 愛誠  
我等が胸をかざるべき  
大和錦の美ならずや  
我等が校の威を掲げむ  
我等が健児は天を呑む

二十七、忠と孝との大糸を  
色どる正義 愛誠  
我等が胸をかざるべき  
大和錦の美ならずや  
我等が校の威を掲げむ  
我等が健児は天を呑む

二十八、忠と孝との大糸を  
色どる正義 愛誠  
我等が胸をかざるべき  
大和錦の美ならずや  
我等が校の威を掲げむ  
我等が健児は天を呑む

二十九、忠と孝との大糸を  
色どる正義 愛誠  
我等が胸をかざるべき  
大和錦の美ならずや  
我等が校の威を掲げむ  
我等が健児は天を呑む

三十、忠と孝との大糸を  
色どる正義 愛誠  
我等が胸をかざるべき  
大和錦の美ならずや  
我等が校の威を掲げむ  
我等が健児は天を呑む

三十一、忠と孝との大糸を  
色どる正義 愛誠  
我等が胸をかざるべき  
大和錦の美ならずや  
我等が校の威を掲げむ  
我等が健児は天を呑む

三十二、忠と孝との大糸を  
色どる正義 愛誠  
我等が胸をかざるべき  
大和錦の美ならずや  
我等が校の威を掲げむ  
我等が健児は天を呑む

三十三、忠と孝との大糸を  
色どる正義 愛誠  
我等が胸をかざるべき  
大和錦の美ならずや  
我等が校の威を掲げむ  
我等が健児は天を呑む

三十四、忠と孝との大糸を  
色どる正義 愛誠  
我等が胸をかざるべき  
大和錦の美ならずや  
我等が校の威を掲げむ  
我等が健児は天を呑む

三十五、忠と孝との大糸を  
色どる正義 愛誠  
我等が胸をかざるべき  
大和錦の美ならずや  
我等が校の威を掲げむ  
我等が健児は天を呑む

三十六、忠と孝との大糸を  
色どる正義 愛誠  
我等が胸をかざるべき  
大和錦の美ならずや  
我等が校の威を掲げむ  
我等が健児は天を呑む

三十七、忠と孝との大糸を  
色どる正義 愛誠  
我等が胸をかざるべき  
大和錦の美ならずや  
我等が校の威を掲げむ  
我等が健児は天を呑む

三十八、忠と孝との大糸を  
色どる正義 愛誠  
我等が胸をかざるべき  
大和錦の美ならずや  
我等が校の威を掲げむ  
我等が健児は天を呑む

三十九、忠と孝との大糸を  
色どる正義 愛誠  
我等が胸をかざるべき  
大和錦の美ならずや  
我等が校の威を掲げむ  
我等が健児は天を呑む

四十、忠と孝との大糸を  
色どる正義 愛誠  
我等が胸をかざるべき  
大和錦の美ならずや  
我等が校の威を掲げむ  
我等が健児は天を呑む

四十一、忠と孝との大糸を  
色どる正義 愛誠  
我等が胸をかざるべき  
大和錦の美ならずや  
我等が校の威を掲げむ  
我等が健児は天を呑む

四十二、忠と孝との大糸を  
色どる正義 愛誠  
我等が胸をかざるべき  
大和錦の美ならずや  
我等が校の威を掲げむ  
我等が健児は天を呑む

四十三、忠と孝との大糸を  
色どる正義 愛誠  
我等が胸をかざるべき  
大和錦の美ならずや  
我等が校の威を掲げむ  
我等が健児は天を呑む

四十四、忠と孝との大糸を  
色どる正義 愛誠  
我等が胸をかざるべき  
大和錦の美ならずや  
我等が校の威を掲げむ  
我等が健児は天を呑む

四十五、忠と孝との大糸を  
色どる正義 愛誠  
我等が胸をかざるべき  
大和錦の美ならずや  
我等が校の威を掲げむ  
我等が健児は天を呑む

四十六、忠と孝との大糸を  
色どる正義 愛誠  
我等が胸をかざるべき  
大和錦の美ならずや  
我等が校の威を掲げむ  
我等が健児は天を呑む

四十七、忠と孝との大糸を  
色どる正義 愛誠  
我等が胸をかざるべき  
大和錦の美ならずや  
我等が校の威を掲げむ  
我等が健児は天を呑む

四十八、忠と孝との大糸を  
色どる正義 愛誠  
我等が胸をかざるべき  
大和錦の美ならずや  
我等が校の威を掲げむ  
我等が健児は天を呑む

四十九、忠と孝との大糸を  
色どる正義 愛誠  
我等が胸をかざるべき  
大和錦の美ならずや  
我等が校の威を掲げむ  
我等が健児は天を呑む

五十、忠と孝との大糸を  
色どる正義 愛誠  
我等が胸をかざるべき  
大和錦の美ならずや  
我等が校の威を掲げむ  
我等が健児は天を呑む

五十一、忠と孝との大糸を  
色どる正義 愛誠  
我等が胸をかざるべき  
大和錦の美ならずや  
我等が校の威を掲げむ  
我等が健児は天を呑む

五十二、忠と孝との大糸を  
色どる正義 愛誠  
我等が胸をかざるべき  
大和錦の美ならずや  
我等が校の威を掲げむ  
我等が健児は天を呑む

五十三、忠と孝との大糸を  
色どる正義 愛誠  
我等が胸をかざるべき  
大和錦の美ならずや  
我等が校の威を掲げむ  
我等が健児は天を呑む

五十四、忠と孝との大糸を  
色どる正義 愛誠  
我等が胸をかざるべき  
大和錦の美ならずや  
我等が校の威を掲げむ  
我等が健児は天を呑む

五十五、忠と孝との大糸を  
色どる正義 愛誠  
我等が胸をかざるべき  
大和錦の美ならずや  
我等が校の威を掲げむ  
我等が健児は天を呑む

五十六、忠と孝との大糸を  
色どる正義 愛誠  
我等が胸をかざるべき  
大和錦の美ならずや  
我等が校の威を掲げむ  
我等が健児は天を呑む

五十七、忠と孝との大糸を  
色どる正義 愛誠  
我等が胸をかざるべき  
大和錦の美ならずや  
我等が校の威を掲げむ  
我等が健児は天を呑む

五十八、忠と孝との大糸を  
色どる正義 愛誠  
我等が胸をかざるべき  
大和錦の美ならずや  
我等が校の威を掲げむ  
我等が健児は天を呑む

五十九、忠と孝との大糸を  
色どる正義 愛誠  
我等が胸をかざるべき  
大和錦の美ならずや  
我等が校の威を掲げむ  
我等が健児は天を呑む

六十、忠と孝との大糸を  
色どる正義 愛誠  
我等が胸をかざるべき  
大和錦の美ならずや  
我等が校の威を掲げむ  
我等が健児は天を呑む

六十ー、忠と孝との大糸を  
色どる正義 愛誠  
我等が胸をかざるべき  
大和錦の美ならずや  
我等が校の威を掲げむ  
我等が健児は天を呑む

六十ーー、忠と孝との大糸を  
色どる正義 愛誠  
我等が胸をかざるべき  
大和錦の美ならずや  
我等が校の威を掲げむ  
我等が健児は天を呑む

六十ーーー、忠と孝との大糸を  
色どる正義 愛誠  
我等が胸をかざるべき  
大和錦の美ならずや  
我等が校の威を掲げむ  
我等が健児は天を呑む

六十ーーーー、忠と孝との大糸を  
色どる正義 愛誠  
我等が胸をかざるべき  
大和錦の美ならずや  
我等が校の威を掲げむ  
我等が健児は天を呑む

六十ーーーーー、忠と孝との大糸を  
色どる正義 愛誠  
我等が胸をかざるべき  
大和錦の美ならずや  
我等が校の威を掲げむ  
我等が健児は天を呑む

六十ーーーーーー、忠と孝との大糸を  
色どる正義 愛誠  
我等が胸をかざるべき  
大和錦の美ならずや  
我等が校の威を掲げむ  
我等が健児は天を呑む

六十ーーーーーーー、忠と孝との大糸を  
色どる正義 愛誠  
我等が胸をかざるべき  
大和錦の美ならずや  
我等が校の威を掲げむ  
我等が健児は天を呑む

六十ーーーーーーーー、忠と孝との大糸を  
色どる正義 愛誠  
我等が胸をかざるべき  
大和錦の美ならずや  
我等が校の威を掲げむ  
我等が健児は天を呑む

六十ーーーーーーーーー、忠と孝との大糸を  
色どる正義 愛誠  
我等が胸をかざるべき  
大和錦の美ならずや  
我等が校の威を掲げむ  
我等が健児は天を呑む

六十ーーーーーーーーーー、忠と孝との大糸を  
色どる正義 愛誠  
我等が胸をかざるべき  
大和錦の美ならずや  
我等が校の威を掲げむ  
我等が健児は天を呑む

六十ーーーーーーーーーーー、忠と孝との大糸を  
色どる正義 愛誠  
我等が胸をかざるべき  
大和錦の美ならずや  
我等が校の威を掲げむ  
我等が健児は天を呑む

六十ーーーーーーーーーーーー、忠と孝との大糸を  
色どる正義 愛誠  
我等が胸をかざるべき  
大和錦の美ならずや  
我等が校の威を掲げむ  
我等が健児は天を呑む

六十ーーーーーーーーーーーーー、忠と孝との大糸を  
色どる正義 愛誠  
我等が胸をかざるべき  
大和錦の美ならず



卒業生の皆さんへ



學校長

金井  
照治

マンドリンクラブ  
文部大臣奨励賞受賞

七月二十八日(日)大阪市青少年会館文化ホールにて開催されました第21回全国高等学校ギ

卒業生の皆様には、益々、  
祥で、ご发展のこと、お喜び申し  
上げます。また、同窓会の年毎  
のご繁栄をお祝い致します。

さて、学校では夏場の教室の高温化に備えて、一部の特別教室に統いてホーム・ルームを冷房化し授業効率を高めています。また、オイルショックとなり建築を進める上で苦労の多かった二号館の内装を休み中に行ない住環境の整備を進めています。

このところ児童数が年毎に減少しているにも関わらず本校への入学志願者が増加し、受験生のレベルも向上していることは大

オオオオオ教員一同は、深く反省をし意識を新たにしで再発のないよう、また、学校の名譽を回復して皆様に信頼を戴けますように改善に向けて努力していく所存であります。



//ヤッタネ//堂々の 文部大臣奨励賞受賞

会長	矢島偉行
副会長	本巖
連絡先	〒162 新宿区納戸町一五 三二六〇一一六六九
昭和三十一年卒業 同期会	朝比奈四十一年
幹事長	阿出川秀夫
事務連絡先	山本
会計	大橋峰成
会長	田島隆
副会長	藤島庸
幹事長	伊藤忠
会計	西村正
会長	中田八
副会長	中田十
幹事長	瀬村秋
会計	堀田島
会長	彰
副会長	茂
幹事長	裕
会計	彦
会長	男
副会長	郷
幹事長	寿
会計	之

会長	卯	小	林	木	敏	夫
副会長	"					
会計	熊	齊	藤	英		
事務局	井					
事務局連絡先	芳					
〒101千代田区神田岩本町一 岩本町ビル73号 武政方	則	実	二	明		
会員一同						
三二五六一八〇七九						

昭和一七年卒  
明中一七会

ホテルニューアメニティ  
昭和二七年卒業  
代表取締役  
稻田博士  
昭和三三年卒業  
常務取締役  
稻田勝久  
〒413 静岡県熱海市東海岸  
サンビーチ前

**株式会社 サンリツ**  
 —通信機器装置・部品、液晶用偏光板—

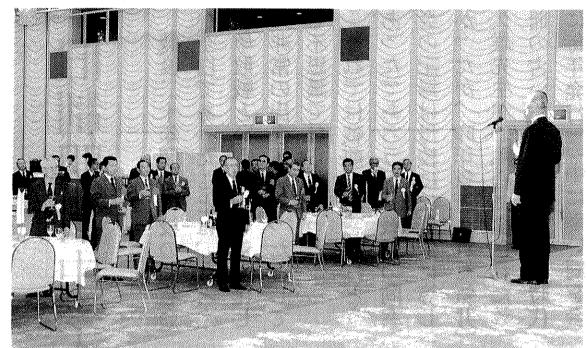
昭和二八年卒	戸田一郎	昭和三八年卒
戸田守彦	戸田守彦	戸田守彦
〒101 東京都千代田区神田小川町三十一 三三九一一四五五四	△	戸田守彦
昭和二九年卒	戸田守彦	戸田守彦

大正7年、東京高等受験講習会として第一歩を踏み出してから70年。酸河台学園は、時代の流れとともに歩みをすめながら教育の新しい可能性を追求していきます。

学校法人 駿河台大学 総長 学校法人 駿河台学園 学園長  
**川崎春之** (昭和18年卒 第27回卒業生)

〒101-0026 東京都千代田区神田駿河台2-5-17 ☎03-5259-3111





平成2年11月16日・明治記念館  
第26回総明会総会後記

## “明治”を愛する旧友たちの集い

当番学年昭和38年卒「二年に一會」

血氣さかんな思春期、中学、

高校時代を“明治”的なものと

に過ごした同窓生も1万人を越

え、大正6年卒業の大先輩には

じまり、平成2年卒業の若者諸

兄まで、実に70有余年の伝統と

ともに「質実剛健」「独立自

治」の校訓はいまも長くひきつ

がれているのである。

年に一度の総明会総会、平成

2年は、11月16日に“神宮の

杜”明治記念館・富士の間にお

いてにぎりよく開催された。

“明治”をよく愛し、青春

時代を謳歌した旧友たちがとも

に酒を汲みかわし、思い出話に

ひたつたのだ。

総会は、午後6時より当番幹

事学年の昭和38年卒業の高橋正

侑君の司会で始まった。小林昭

雄副会長の開会の辞にはじま

り、坂本朝一会長のあいさつ、

大場隆之専務理事の会務報告、

二村昌也会計理事の会務報告と

湯島白梅太鼓保存会による

太鼓の音が鳴りひびき、熱気に

あふれていた。いちだんと盛り

あがったところで、いよいよ坂

本会長の勲一等瑞宝章を祝って

われわれ38年卒「二年に一會」

とどこおりなく進んでいった。

ヒナ壇には大きく“第26回総

明会・総会・懇親会の文字が掲

げられ、会旗がたれさがる。

館野春男監査の監査報告につ

づいて来賓を代表して、明治中

学校、明治高校・金井照治校長

が現在の母校の近況報告をこと

こまかに説明してくださった。

そして、今年から明高野球部

の監督に就任された卯木敏夫副

会長が野球部の復活を誓い、閉

会の辞でめぐくった。

厳粛に進められた総会も無事終

了、ひきつづいて旧交を暖めあう

懇親会に移った。幹事学年代表の

三浦昭生君が開会の辞をのべ、片

岡龍夫名誉会長の音頭で乾杯、

パーティーがスタートした。

ゆったりしたスペース、高い天

気を大いに満喫し、会場のあちこ

ちでは同年代の仲間の輪ができる

音詠、あるいは近況などさまざま

な思いを抱いて、豪勢な料理に舌

づみをうちながら、しばし歓談

のひとときを過した。

イキなハッピ姿のお嬢さんた

ちが勢よく、太鼓にむかって

バチさばきをみせ、ムードも最

高潮に達する。会場いっぱいに

太鼓の音が鳴りひびき、熱気に

あふれていた。いちだんと盛り

あがったところで、いよいよ坂

本会長の勲一等瑞宝章を祝って

われわれ38年卒「二年に一會」

壇上に登り、応援団団長であつた大塚武史君がリーダーとなり明治高校校歌の合唱を行つた。壇上に並ぶ“二年に一會”会員後輩たちが全員肩を組みあい、タクトをとる“おお！明治！”の大合唱である。大先輩たち、後輩たちが全員肩を組みあい、

ヒナ壇前には応援団OBが並び

た大合唱である。大先輩たち、

後輩たちが全員肩を組みあい、

タクトをとる“おお！明治！”

から記念品授与が行われた。

三浦代表より、豪華なフラワー

アレンジメントが坂本会長に手わ

たされた。坂本会長への記念品贈

呈のあとふたび、会長へのお祝

いをもくめた湯島天神祝い太鼓

がひびきわたつたのである。

懇親会もノリにノリたところで

司会者高橋君から、「みなさんと

ちょっとしたゲームをやりましょ

う」と声がかかり、参会者全員が

ジャンケンゲームを楽しむこと

なつた。全員、100円硬貨一枚を用

意して、スタート、最初の3回は

司会者と全員がジャンケンをやつ

て勝ち残りを決める。そして十数

名にしぶれたところで勝ち残り

が壇上にあがり、一対一のジャン

ケン勝負。そうして、ベスト4、

ベスト2と勝ち残り、幸運の最後

の勝利者は次年度幹事学年の青木

義昭さんに決まった。

「この賞金は、来年のこの会の

補助金にさせていただきます」と

グランプリもよいよ佳境には

熱いジャンケンにつづいて、次

立つ壇上へ、参加している39年卒

第26回総会のもようを後記として報告させていただきます。われわれ昭和38年卒“二年に一會”が

当番幹事をつとめてから早や1年が過ぎた。一生に一度の大役とい

うわけで、代表の三浦君、実行委員長の高橋君を中心に十数度にわたり、幹事会を開いて準備を進め

ていた。仕事をそつちのけでやつてくれた人もいる。奥さんやお子さんにも手助けしてもらつた人もいた。幹事ばかりでなく「二年に一會」会員たちも心よく協力してくれた。学友とはほんとうにいいものだと感じた。名前をあげればきりがないが、みんな一生懸命やつたのである。

これまでわれわれ“二年の

会”のきずなもなお一層固くなつたといえるだろう。

最後になりましたが、総明会本部の方々のご指導、また同窓会員の皆様には、広告等無理

なお願いもし、ご迷惑をかけたことと思います。この紙面を借りて、深く感謝申し上げます。

ありがとうございました。

三和織維株式会社

専務取締役

小林功明

昭和三四年卒

常務取締役

高橋秀典

昭和三四年卒

代表取締役

株式会社ワープ

昭和三八年卒

代表取締役

高橋正侑

昭和三八年卒





# 輝く伝統の 源流を求めて

明治高校 進路指導主任 小田島 利晴

さが本校の最も恐るべき陥穀な  
てゆくことができます。  
逆説的ですが、そうした氣樂  
ではありません。

浪人生が40万人以上の数に達  
しています。大体仙台市の人口  
に匹敵します。

関東や関西の大都市圏で合格は  
無理とみるや受験生は地方へU  
ターンし、昨年は北海道、今年は  
九州が穴場だとされています。

一方、二〇〇一年には受験生  
1名に大学は1校という状況に  
なるそうです。

そうなると地方自治体が受験  
生激増を見込んで急務とした大  
学や文部省のお声掛けで学部を  
増設した大学は極めて深刻な事  
態に遭遇することになります。

21世紀の教育を考える際の  
キーワードは情報と生涯学習で  
あるといわれています。

これまで述べたことは脈  
絡を欠くことを承知しています  
が、進路指導を行ううえで今日  
必須の情報の幾つかを掲げたつ  
もりです。

95パーセント近くが推薦に  
よって大学に進学するシステム  
を有する本校の場合、今日の大  
学受験者が直面している過酷な  
現実も大学の将来の不安定さ、  
ましてや來るべき世纪に必要  
となる知識に関してさほど気に  
せずとも中等教育段階を経過し

本校の教師が受験戦争の前戦か  
らは離れていてかえって社会の  
現実と教育を客観的に捕えてい  
ることが理由のひとつと考えら  
れます。

中学から大学までの受験生の  
国公立離れブームは最近とみ  
に、著しいとされていますが、  
その原因として教師の姿勢と社  
会との係わり方から生ずる学校  
のものつイメージもあがられるで  
しょうし、私立校が時流を乗り  
切ってゆくヴァイタリティーが  
若者にアピールしているとみる  
こともできます。

本年度、理系及び文・文・系  
の受験者の人気が上昇するとい  
われていますが、数年前から本  
校の志望傾向には既に明白に示  
されていました。

本年度卒業後法曹界で活躍して  
いる人数は、本校の規模からみれ  
ば極めて多く、全国で有数の高校  
だろう、と現在弁護士のあるOB  
が評しましたが、本校の生徒の特  
質からして、学者としてよりも実  
業界で面目躍如たる人材を輩出す  
る可能性は益々強いといえます。

本校卒業した方がご子息  
が評しましたが、本校の生徒の特  
質からして、学者としてよりも実  
業界で面目躍如たる人材を輩出す  
る可能性は益々強いといえます。

本校卒業後法曹界で活躍して  
いる人数は、本校の規模からみれ  
ば極めて多く、全国で有数の高校  
だろう、と現在弁護士のあるOB  
が評しましたが、本校の生徒の特  
質からして、学者としてよりも実  
業界で面目躍如たる人材を輩出す  
る可能性は益々強いといえます。

## 思い出のなかの 先生たち

明士会会員 落合 茂

卒業後60年以上ともなれば、  
中学時代の先生がたのお名前は、  
まずニックネームのほうが先に浮  
かんでくる。渾名のトップは、な  
んといっても、あの立派な「丹罈」  
の大橋教頭の「仁丹」とどめをさ  
す。一年担当の英語の松村先生  
は、柔軟な女性的タイプで、歩く  
ときに首が前後に動くところか  
ら、「コム人形」と呼ばれた。二  
年ときの新任の藤野先生は、し  
きりに「バチバチ」をかけるの  
で、すぐに「ソロバン」のニック  
ネームを奉られた。東大で青い  
背広がよく似合った。国語では四  
年担任だった永松先生は、提出  
した作文にいつも赤インクで評言  
を書いてくれたので、特別に親近  
感を覚えた。小学生のころ、家入  
の留守に小犬を座敷にあげて遊ん  
だことを書いたとき、「それはガ  
ラスのようにこわれやすい魂だ」  
云々の評言をもらつた嬉しさが忘  
れられなかつた。

大正12年9月1日、二年二学  
期の第一日を終えて帰宅したと  
ころで、あの関東大震災に襲わ  
れた。新築間もない四階建て校  
舎は全焼し、9月20日ころから  
麻布中学を借りて、午後から授

講堂に相対し修身を説く  
今日の諸生は全く播種なり  
三十五年茫として夢に似たり  
旧師は碌々として風塵に老ゆ  
た。先生たるものは、生徒の芽  
を摘むのではなく、芽を伸ばすべ  
きである。教円という名前だっ  
たので、ぼくは「教円坊主」とひ  
そかに呼んでいた。

修身は江戸時代文化史専攻の  
中村孝也博士だったが、あると  
き、「中学生は白十字などに出  
入りしてはいけない」と訓話し  
た。ぼくはそれまで白十字がど  
んな店かも知らなかつたが、そ  
ういわれるといつてみたくな  
り、日曜にそつと探検した。明  
るい大衆喫茶チエーン店で、若  
いウエーテレスの「イラッシャ  
イマセー」と語尾を伸ばした挨  
拶が新鮮で、中学生が出入りし  
たからといって、道学者めいて  
目くじらたてるのは大人気ない  
と思った。中村先生の後任の中  
藤眞先生は、東大哲学科出の見  
るからに学究肌で、いちど講義  
のあと、教員室に戻る先生を追

明士会席上即事 三首

昭和四一年卒 株式会社伊勢屋  
代表取締役 鈴木 修

昭和四四年卒 大晴工業株式会社  
代表 三上 正 司

昭和四四年卒 村澤 隆司

昭和四四年卒 村澤 隆司

昭和四四年卒 大塚 博

昭和四四年卒 大塚 博

昭和四四年卒 大塚 博

昭和四四年卒 村澤 隆司

昭和四四年卒 村澤 隆司

いかけて、キリスト教について  
の疑問を質問したことがある。

科学が進歩すれば、宗教などは  
滅びるのではないかといつた素  
朴な質問だったと思う。先生は

震災後の教師不足で、歴史担  
当の小野先生は国語・地理など  
数課目を受け持つたので、『雑貨  
商』の異名を奉られた。大臣の  
議会読説もどきの教科書の棒読  
みで無味乾燥教師というより  
利先生は生徒がせがめば、とき  
どきループランの「アルセーヌ・  
ルパン」の音読サービスをして  
くれたので、「ルパン」と呼ばれ  
た。英語の志村先生は見掛けは  
謹厳そのものだったが、こちら  
がよく予習していくと、「二階の  
小父さんに教わったな」とジョー  
クを飛ばしたものである。图画教科  
書の小鳥の絵の宿題を自信満々  
で提出すると、「誰かに手伝つて  
書の小鳥の絵の宿題を自信満々  
がある。四年のとき、图画教科  
書の小鳥の絵の宿題を自信満々  
で提出すると、「誰かに手伝つて  
せられ、以来图画が嫌いになっ  
た。先生たるものは、生徒の芽  
を摘むのではなく、芽を伸ばすべ  
きである。教円という名前だっ  
たので、ぼくは「教円坊主」とひ  
そかに呼んでいた。

文学・法学の博士号を持ち、大

学教授のほか、戦時中は日本出

版会常任理事や言論報国会理事

などを歴任、戦後は自立した活

躍しなかつたが、「荊園」の雅

号で詩作され、哲学書のほか

「唐詩選」(集英社版)、「漢詩大

系」)や詩集の著書があり、平

成元年93歳で亡くなつた。「明

士会報」40号には、昭和36年の  
明士会総会に招かれた七言絶句が  
席上即席で書かれた七言絶句が  
掲載されている。

明士会席上即席 三首

昭和三八年卒 有限会社高木商店  
代表取締役 高木 正之

昭和三八年卒 吉田 敏男

昭和三八年卒 取締役社長

昭和三九年卒 昭和三九年卒

昭和三九年卒 吉田 清志

昭和三九年卒 吉田 清志

昭和三九年卒 吉田 清志

昭和三九年卒 吉田 清志

ハイヤー・タクシーの  
大洋自動車交通(株)

## 先輩、後輩諸兄の近況報告

# 明中、明高同期会だより

## 大正10年卒業

今年は卒業七十年目、みんな

米寿を迎えた。卒業したのは一  
〇一名であったが、現在残っているのは十三名。内二名は関西に在住している。親しい友達が一人一人欠けてゆくのは、なんとも辛く、寂しいことだ。

だが元気な我々は毎月五日正午にスキヤ橋のニュートーキョーの八階に集り、ビールで乾杯、お互の健在を確認しあつてゐる。集る者七、八人だが、雑談時に時を忘れ、これが毎月の楽しみになつてゐる。

又会員相互のコミュニケーションのため、昭和四十七年から季刊で会報「明五」を発行してきたが、現在八十一号、会員には大変喜ばれている。

これからも皆んな元気で人数の減らないことを祈つて止まない。

片岡 龍夫

昭和4年卒業

昭和4年卒業の我々は、殆んどが明治44年(1911年)生れ、したがつて今年中に80歳になる。近頃は人生80年といわれるが、矢張り歳は争えない。卒業時117人いた級友も、消息の判つている現存者は29名、そのうち昭四会例会への出席者は大体その半数である。

その例会も永い間年1回夕方から開いていたが、夜の外出は避けたいという希望が出て、屋間の会合とし、同時に年2回開くことにした。会の世話は常任幹事2名と1年交

替の当番幹事2名が相談してやつてゐる。

しかし年々何人かの物故者が出て、会が細つて行くのは、歳のせいで、やむを得ないとはいえ、やはり淋しいとおもう。

〔連絡先〕〒133 東京都江戸川区北小岩4-12-14 ☎03-3657-4353

袖木 要

## 昭和8年卒業

その名は昭八会。名の示す如く昭和8年卒の会。いつ生まれたか、どこで出来たかとんと解らぬ。私が知つたのは昭和40年のころ。昭和60年から市川、野口両兄と幹事をつとめ、会の運営に当たつてゐる。会則に従い、親睦交流と消息を確かめることを建て前に年1回、総会を開き旅行会を催してゐる。また14号に達した。そのため年会費を徴収している。なにしろ戦争にまきこまれた年代故、消息不明者が多く、通信を交わせる人30名たらず。会合に出る会員と10名そこそこという有様である。戦前の明中時代を知る、わたくしたちと年次の近い世代の人たちと語り合いたい、とうう希望をもつてゐる。

昭和8年卒業の会は、昭和8年卒の会。いつ生まれたかとんと解らぬ。私が知つたのは昭和40年のころ。昭和60年から市川、野口両兄と幹事をつとめ、会の運営に当たつてゐる。会則に従い、親睦交流と消息を確かめる

ことを建て前に年1回、総会を開き旅行会を催してゐる。また

年1回大体神田YMCA地下のレストランで15名前後が集まつてクラス会を行つています。

〔連絡先〕〒251 神奈川県藤沢市鵠沼海岸7-19-24 ☎0466-342142

森田 仁七郎

## 昭和12年卒業

同期会の名称は、「明中二

一会」(にいちかい)。第21回の卒業なので、そう名づけた。現在のメンバーは34名である。同期生の中富光国氏のお世話で同氏経営のYMC Aのレストラン・オーナーで、年1回、又は2回ケルで、伊豆の下田、須崎、クラシス会を開いてゐる。昨年は11月10日に開催した。

今迄、伊豆の下田、須崎、又山梨の石和で、一泊旅行も実施した。出席者は10名前後、幹事は持ち廻りである。年令は古希(こき)を

41) 4737

梅郷 3-856-16

〔連絡先〕〒198 東京都青梅市宗像 健一郎

昭和10年卒業

昭和10年卒業の方は避けていたが、夜の外出は避けたいという希望が出て、屋間の会合とし、同時に年2回開くことにした。会の世話は常任幹事2名と1年交

9

こえたが、気分は若く、いつも楽しい集まりである。

〔連絡先〕〒112 東京都文京区千石4-26-11 ☎03-3941-4737

奈良 八郎

同期会名称は「四志会」(よんしき)。故野木先生の命名

## パドルビィ(ギフト販売)

株式会社データマン社

株式会社日本橋東洋

No.1

## 青木 厚

市橋 正信

北村 元曠

## 昭和13年卒業

株式会社くぼい

株式会社東建社

株式会社くぼい

No.1

## マルコメみそ販売

硬式野球部OB

久保井賢一郎

久保井賢一郎

No.1

## 青木 義昭

伊藤 武宏

伊藤 武宏

伊藤 武宏

No.1

## 株式会社白秋

内海印刷株式会社

岩本 忠

岩本 忠

No.1

## 雨海塗装店

昭栄木材株式会社

小林会計事務所

小林会計事務所

No.1

## 秋元 康彦

伊藤 武宏

伊藤 武宏

伊藤 武宏

No.1

## 株式会社白秋

伊藤 武宏

伊藤 武宏

伊藤 武宏

No.1

## 株式会社白秋

伊藤 武宏

伊藤 武宏

No.1

## 株式会社東建社

伊藤 武宏

伊藤 武宏

No.1

## 株式会社くぼい

久保井賢一郎

久保井賢一郎

No.1

## 株式会社東建社

伊藤 武宏

伊藤 武宏

No.1

## 株式会社くぼい

久保井賢一郎

久保井賢一郎

No.1

## 総明会報

の出席ですが、初参加の者が必ずあることが嬉しい。

学徒出陣の年代で、戦死者も多く戦災にもあり、消息をつかむのに苦労したが現在62人が確認されています。

世話人代表の三笠光人君がこまめに連絡をとってくれております。私、奥野博司は創立当初からの総明会担当をさせられています。

(連絡先) 〒181 東京都三鷹市下連雀2-12-24 ☎ 0422(43)4774 三笠光人

## 昭和17年卒業

会の名は、「一七会」(イチナナカイ)、昭和17年卒業なのでこの様に命名した。卒業後、満49年、来年は50年となる。半世紀を経過することになる。

「光陰矢の如し」「少年老い易く、学成り難し」等、いまは亡き、高坂、下村諸先生の訓えを受けたが、古稀を近くして殆どのクラスメートが、リタイア生活に入った今日この頃になって、漸やくその意味が実感として身に滲みて来る。

無謀な戦いに、多くの友を失いつつもしたたかに生きて来たが、身は既に白髪禿頭となり、血压に苦しむ輩も少くないが、一七会の会合とともになると、愛妻を杖としてでも参加する者さえいる。やはり楽しいのだ。

先年、愛妻を亡くした、伊奈薰君の失意をやわらげようと、一七会の事務局の労を煩らわすこととした。律義な同君の活動が、今日の一七会を支えてくれていることに一同感謝している。この様な会が一七会である。

(連絡先) 〒116 東京都荒川区

西日暮里1-35-7 ☎ 03  
同期会の名称は「二八会」(にっぽちかい)。明治中学第二十八回卒業をとり同期会の名とした。

会の名に因んで例年2月28日同期の中富穂隆氏の経営する神田のY.M.C.A.レストランで行っている。平成3年は新築の同レストランに原田種成先生(漢文・現大東文化大)をお招きし23名が参集し楽しい時を過した。原田先生からは達筆の色紙「良宵宣清談」などが参会の全員に贈られた。

(連絡先) 〒145 東京都大田区新田晃太郎 〒170 区駒込1-15-7 ☎ 03(342)1860 9-42 三七21 1968 土居 養一

・現大東文化大)をお招きし23名が参集し楽しい時を過した。原田先生からは達筆の色紙「良宵宣清談」などが参会の全員に贈られた。

(連絡先) 〒145 東京都大田区新田晃太郎 〒170 区駒込1-15-7 ☎ 03(342)1860 9-42 三七21 1968 土居 養一

・現大東文化大)をお招きし23名が参集し楽しい時を過した。原田先生からは達筆の色紙「良宵宣清談」などが参会の全員に贈られた。

(連絡先) 〒101 東京都千代田区内神田2-3-2 ☎ 03 三251 8268 米山 耕右

・現大東文化大)をお招きし23名が参集し楽しい時を過した。原田先生からは達筆の色紙「良宵宣清談」などが参会の全員に贈られた。

(連絡先) 〒101 東京都千代田区内神田2-3-2 ☎ 03 三251 8268 米山 耕右

## 昭和25年卒業

去る4月18日 昨年と同じ神楽坂のレストラントリノに伊藤先生をお招きして集まつた。

(連絡先) 〒101 東京都千代田区内神田2-3-2 ☎ 03 三251 8268 米山 耕右

・現大東文化大)をお招きし23名が参集し楽しい時を過した。原田先生からは達筆の色紙「良宵宣清談」などが参会の全員に贈られた。

(連絡先) 〒101 東京都千代田区内神田2-3-2 ☎ 03 三251 8268 米山 耕右

・現大東文化大)をお招きし23名が参集し楽しい時を過した。原田先生からは達筆の色紙「良宵宣清談」などが参会の全員に贈られた。

(連絡先) 〒101 東京都千代田区内神田2-3-2 ☎ 03 三251 8268 米山 耕右

## 昭和30年卒業

去る4月18日 昨年と同じ神楽坂のレストラントリノに伊藤先生をお招きして集まつた。

(連絡先) 〒101 東京都千代田区内神田2-3-2 ☎ 03 三251 8268 米山 耕右

・現大東文化大)をお招きし23名が参集し楽しい時を過した。原田先生からは達筆の色紙「良宵宣清談」などが参会の全員に贈られた。

(連絡先) 〒101 東京都千代田区内神田2-3-2 ☎ 03 三251 8268 米山 耕右

・現大東文化大)をお招きし23名が参集し楽しい時を過した。原田先生からは達筆の色紙「良宵宣清談」などが参会の全員に贈られた。

(連絡先) 〒101 東京都千代田区内神田2-3-2 ☎ 03 三251 8268 米山 耕右

## 昭和33年卒業

去る4月18日 昨年と同じ神楽坂のレストラントリノに伊藤先生をお招きして集まつた。

(連絡先) 〒101 東京都千代田区内神田2-3-2 ☎ 03 三251 8268 米山 耕右

・現大東文化大)をお招きし23名が参集し楽しい時を過した。原田先生からは達筆の色紙「良宵宣清談」などが参会の全員に贈られた。

(連絡先) 〒101 東京都千代田区内神田2-3-2 ☎ 03 三251 8268 米山 耕右

・現大東文化大)をお招きし23名が参集し楽しい時を過した。原田先生からは達筆の色紙「良宵宣清談」などが参会の全員に贈られた。

(連絡先) 〒101 東京都千代田区内神田2-3-2 ☎ 03 三251 8268 米山 耕右

## 株式会社内藤商店

去る4月18日 昨年と同じ神楽坂のレストラントリノに伊藤先生をお招きして集まつた。

(連絡先) 〒101 東京都千代田区内神田2-3-2 ☎ 03 三251 8268 米山 耕右

・現大東文化大)をお招きし23名が参集し楽しい時を過した。原田先生からは達筆の色紙「良宵宣清談」などが参会の全員に贈られた。

(連絡先) 〒101 東京都千代田区内神田2-3-2 ☎ 03 三251 8268 米山 耕右

・現大東文化大)をお招きし23名が参集し楽しい時を過した。原田先生からは達筆の色紙「良宵宣清談」などが参会の全員に贈られた。

(連絡先) 〒101 東京都千代田区内神田2-3-2 ☎ 03 三251 8268 米山 耕右

## 東葉ハウジング株式会社

去る4月18日 昨年と同じ神楽坂のレストラントリノに伊藤先生をお招きして集まつた。

(連絡先) 〒101 東京都千代田区内神田2-3-2 ☎ 03 三251 8268 米山 耕右

・現大東文化大)をお招きし23名が参集し楽しい時を過した。原田先生からは達筆の色紙「良宵宣清談」などが参会の全員に贈られた。

(連絡先) 〒101 東京都千代田区内神田2-3-2 ☎ 03 三251 8268 米山 耕右

・現大東文化大)をお招きし23名が参集し楽しい時を過した。原田先生からは達筆の色紙「良宵宣清談」などが参会の全員に贈られた。

(連絡先) 〒101 東京都千代田区内神田2-3-2 ☎ 03 三251 8268 米山 耕右

・現大東文化大)をお招きし23名が参集し楽しい時を過した。原田先生からは達筆の色紙「良宵宣清談」などが参会の全員に贈られた。

(連絡先) 〒101 東京都千代田区内神田2-3-2 ☎ 03 三251 8268 米山 耕右

・現大東文化大)をお招きし23名が参集し楽しい時を過した。原田先生からは達筆の色紙「良宵宣清談」などが参会の全員に贈られた。

(連絡先) 〒101 東京都千代田区内神田2-3-2 ☎ 03 三251 8268 米山 耕右

・現大東文化大)をお招きし23名が参集し楽しい時を過した。原田先生からは達筆の色紙「良宵宣清談」などが参会の全員に贈られた。

(連絡先) 〒101 東京都千代田区内神田2-3-2 ☎ 03 三251 8268 米山 耕右

・現大東文化大)をお招きし23名が参集し楽しい時を過した。原田先生からは達筆の色紙「良宵宣清談」などが参会の全員に贈られた。

(連絡先) 〒101 東京都千代田区内神田2-3-2 ☎ 03 三251 8268 米山 耕右

・現大東文化大)をお招きし23名が参集し楽しい時を過した。原田先生からは達筆の色紙「良宵宣清談」などが参会の全員に贈られた。

(連絡先) 〒101 東京都千代田区内神田2-3-2 ☎ 03 三251 8268 米山 耕右

・現大東文化大)をお招きし23名が参集し楽しい時を過した。原田先生からは達筆の色紙「良宵宣清談」などが参会の全員に贈られた。

(連絡先) 〒101 東京都千代田区内神田2-3-2 ☎ 03 三251 8268 米山 耕右

## 昭和19年卒業

同期会の名称は「二八会」(にっぽちかい)。明治中学第二十八回卒業をとり同期会の名とした。

会の名に因んで例年2月28日同期の中富穂隆氏の経営する神田のY.M.C.A.レストランで行っている。平成3年は新築の同レ

ストランに原田種成先生(漢文・現大東文化大)をお招きし23名が参集し楽しい時を過した。原田先生からは達筆の色紙「良宵宣清談」などが参会の全員に贈られた。

(連絡先) 〒101 東京都千代田区内神田2-3-2 ☎ 03 三251 8268 米山 耕右

・現大東文化大)をお招きし23名が参集し楽しい時を過した。原田先生からは達筆の色紙「良宵宣清談」などが参会の全員に贈られた。

(連絡先) 〒101 東京都千代田区内神田2-3-2 ☎ 03 三251 8268 米山 耕右

・現大東文化大)をお招きし23名が参集し楽しい時を過した。原田先生からは達筆の色紙「良宵宣清談」などが参会の全員に贈られた。

(連絡先) 〒101 東京都千代田区内神田2-3-2 ☎ 03 三251 8268 米山 耕右

## 昭和27年卒業

同期会の名称は「二八会」(にっぽちかい)。明治中学第二十八回卒業をとり同期会の名とした。

会の名に因んで例年2月28日同期の中富穂隆氏の経営する神田のY.M.C.A.レストランで行っている。平成3年は新築の同レ

ストランに原田種成先生(漢文・現大東文化大)をお招きし23名が参集し楽しい時を過した。原田先生からは達筆の色紙「良宵宣清談」などが参会の全員に贈られた。

(連絡先) 〒101 東京都千代田区内神田2-3-2 ☎ 03 三251 8268 米山 耕右

・現大東文化大)をお招きし23名が参集し楽しい時を過した。原田先生からは達筆の色紙「良宵宣清談」などが参会の全員に贈られた。

(連絡先) 〒101 東京都千代田区内神田2-3-2 ☎ 03 三251 8268 米山 耕右

・現大東文化大)をお招きし23名が参集し楽しい時を過した。原田先生からは達筆の色紙「良宵宣清談」などが参会の全員に贈られた。

(連絡先) 〒101 東京都千代田区内神田2-3-2 ☎ 03 三251 8268 米山 耕右

## 昭和32年卒業

同期会の名称は「二八会」(にっぽちかい)。明治中学第二十八回卒業をとり同期会の名とした。

会の名に因んで例年2月28日同期の中富穂隆氏の経営する神田のY.M.C.A.レストランで行っている。平成3年は新築の同レ

ストランに原田種成先生(漢文・現大東文化大)をお招きし23名が参集し楽しい時を過した。原田先生からは達筆の色紙「良宵宣清談」などが参会の全員に贈られた。

(連絡先) 〒101 東京都千代田区内神田2-3-2 ☎ 03 三251 8268 米山 耕右

・現大東文化大)をお招きし23名が参集し楽しい時を過した。原田先生からは達筆の色紙「良宵宣清談」などが参会の全員に贈られた。

(連絡先) 〒101 東京都千代田区内神田2-3-2 ☎ 03 三251 8268 米山 耕右

・現大東文化大)をお招きし23名が参集し楽しい時を過した。原田先生からは達筆の色紙「良宵宣清談」などが参会の全員に贈られた。

(連絡先) 〒101 東京都千代田区内神田2-3-2 ☎ 03 三251 8268 米山 耕右

## 柴田鉛筆株式会社

同期会の名称は「二八会」(にっぽちかい)。明治中学第二十八回卒業をとり同期会の名とした。

会の名に因んで例年2月28日同期の中富穂隆氏の経営する神田のY.M.C.A.レストランで行っている。平成3年は新築の同レ

ストランに原田種成先生(漢文・現大東文化大)をお招きし23名が参集し楽しい時を過した。原田先生からは達筆の色紙「良宵宣清談」などが参会の全員に贈られた。

(連絡先) 〒101 東京都千代田区内神田2-3-2 ☎ 03 三251 8268 米山 耕右

・現大東文化大)をお招きし23名が参集し楽しい時を過した。原田先生からは達筆の色紙「良宵宣清談」などが参会の全員に贈られた。

(連絡先) 〒101 東京都千代田区内神田2-3-2 ☎ 03 三251 8268 米山 耕右

・現大東文化大)をお招きし23名が参集し楽しい時を過した。原田先生からは達筆の色紙「良宵宣清談」などが参会の全員に贈られた。

(連絡先) 〒101 東京都千代田区内神田2-3-2 ☎ 03 三251 8268 米山 耕右

## 柴田正治

同期会の名称は「二八会」(にっぽちかい)。明治中学第二十八回卒業をとり同期会の名とした。

会の名に因んで例年2月28日同期の中富穂隆氏の経営する神田のY.M.C.A.レストランで行っている。平成3年は新築の同レ

ストランに原田種成先生(漢文・現大東文化大)をお招きし23名が参集し楽しい時を過した。原田先生からは達筆の色紙「良宵宣清談」などが参会の全員に贈られた。

(連絡先) 〒101 東京都千代田区内神田2-3-2 ☎ 03 三251 8268 米山 耕右

・現大東文化大)をお招きし23名が参集し楽しい時を過した。原田先生からは達筆の色紙「良宵宣清談」などが参会の全員に贈られた。

(連絡先) 〒101 東京都千代田区内神田2-3-2 ☎ 03 三251 8268 米山 耕右

・現大東文化大)をお招きし23名が参集し楽しい時を過した。原田先生からは達筆の色紙「良宵宣清談」などが参会の全員に贈られた。

(連絡先) 〒101 東京都千代田区内神田2-3-2 ☎ 03 三251 8268 米山 耕右

## 西山光彦

同期会の名称は「二八会」(にっぽちかい)。明治中学第二十八回卒業をとり同期会の名とした。

会の名に因んで例年2月28日同期の中富穂隆氏の経営する神田のY.M.C.A.レストランで行っている。平成3年は新築の同レ

ストランに原田種成先生(漢文・現大東文化大)をお招きし23名が参集し楽しい時を過した。原田先生からは達筆の色紙「良宵宣清談」などが参会の全員に贈られた。

(連絡先) 〒101 東京都千代田区内神田2-3-2 ☎ 03 三251 8268 米山 耕右

・現大東文化大)をお招きし23名が参集し楽しい時を過した。原田先生からは達筆の色紙「良宵宣清談」などが参会の全員に贈られた。

(連絡先) 〒101 東京都千代田区内神田2-3-2 ☎ 03 三251 8268 米山 耕右

・現大東文化大)をお招き



## 総明会報

5) 6721 佐久間 洋一

## 昭和53年卒業

残念ながら今だに同期会はできおりません。

最近、結婚式などで明高時代の友人によく会います(ちなみに私も5月に結婚したばかり)。その度に皆で同期会をそろそろ作ろうと話が出ます。私も明大

理工学部で助手をしておりましたので、スタート時事務局をひきうけたいと思っています。とりあえず、今年は名簿の整備をしたいので現住所・電話・勤務先をお知らせ下さい。

【連絡先】〒214 川崎市多摩区東三田1の1 明大 理工学部 ☎ 044 (934) 7443 井口 幸洋

## 現役後輩たちの班、運動部、文化部活動報告

## 生徒会本部

す。我ら放送班の「影の活躍」をみて下さい。

## 新聞班

『明治中学・高校新聞』を行しています。ちなみに文準広報も体準広報も選挙広報も実は

## 図書班

悪いイメージがつきがちですが、我々は違います。男のロマン、男の血潮、まさに男の中の男と言えましょう。男子校に入ったならばやはり入るのは応援団。フレーフレー総明会

## 庭球部

化祭」、そして2月には一年の「定期演奏会」を開きます。一年を通してたくさんの行事があるため、練習は毎日あります。しかし厳しい練習も、大舞台で演奏する喜びを考えると少しも苦にならないのが不思議です。

## 一 瓶 滿 吉

昭和三二年卒

## 長 谷 川 直 樹

昭和三九年卒

## 秋 田 直 好

昭和四一年卒

## 木幡 宏

昭和三五年卒

## 蒲生絢一郎

昭和三九年卒

## 佐藤 信 征

昭和三九年卒

## 吉 田 清 志

昭和四〇年卒

## 早 川 清 二

昭和四三年卒

## 山 崎 泰 雄

昭和四三年卒

## 秋 田 直 好

昭和四〇年卒

## 高 橋 正 侑

昭和三九年卒

## 倉 島 孝 夫

昭和三八年卒

## 木幡 宏

昭和三六年卒

## 佐藤 信 征

昭和三九年卒

## 佐藤 信 征

昭和三九年卒

## 吉 田 清 志

昭和四〇年卒

## 早 川 清 二

昭和四三年卒

## 山 崎 泰 雄

昭和四三年卒

## 木幡 宏

昭和三六年卒

## 佐藤 信 征

昭和三九年卒

## 佐藤 信 征

昭和三九年卒

## 吉 田 清 志

昭和三九年卒

## 早 川 清 二

昭和三九年卒

## 山 崎 泰 雄

昭和三九年卒

## 吉 田 清 志

昭和三九年卒

## 早 川 清 二

昭和三九年卒

## 山 崎 泰 雄

昭和三九年卒

## 吉 田 清 志

昭和三九年卒

## 早 川 清 二

昭和三九年卒

## 山 崎 泰 雄

昭和三九年卒

## 吉 田 清 志

昭和三九年卒

## 早 川 清 二

昭和三九年卒

## 山 崎 泰 雄

昭和三九年卒

## 吉 田 清 志

昭和三九年卒

## 早 川 清 二

昭和三九年卒

## 山 崎 泰 雄

昭和三九年卒

## 吉 田 清 志

昭和三九年卒

## 早 川 清 二

昭和三九年卒

## 山 崎 泰 雄

昭和三九年卒

## 吉 田 清 志

昭和三九年卒

## 早 川 清 二

昭和三九年卒

## 山 崎 泰 雄

昭和三九年卒

## 吉 田 清 志

昭和三九年卒

## 早 川 清 二

昭和三九年卒

## 山 崎 泰 雄

昭和三九年卒

## 吉 田 清 志

昭和三九年卒

## 早 川 清 二

昭和三九年卒

## 山 崎 泰 雄

昭和三九年卒

## 吉 田 清 志

昭和三九年卒

## 早 川 清 二

昭和三九年卒

## 山 崎 泰 雄

昭和三九年卒

## 吉 田 清 志

昭和三九年卒

## 早 川 清 二

昭和三九年卒

## 山 崎 泰 雄

昭和三九年卒

## 吉 田 清 志

昭和三九年卒

## 早 川 清 二

昭和三九年卒

## 山 崎 泰 雄

昭和三九年卒

## 吉 田 清 志

昭和三九年卒

## 早 川 清 二

昭和三九年卒

## 山 崎 泰 雄

昭和三九年卒

## 吉 田 清 志

昭和三九年卒

## 早 川 清 二

昭和三九年卒

## 山 崎 泰 雄

昭和三九年卒

## 吉 田 清 志

昭和三九年卒

## 早 川 清 二

昭和三九年卒

## 山 崎 泰 雄

昭和三九年卒

## 吉 田 清 志

昭和三九年卒

## 早 川 清 二

昭和三九年卒

## 山 崎 泰 雄

昭和三九年卒

## 吉 田 清 志

昭和三九年卒

## 早 川 清 二

昭和三九年卒

## 山 崎 泰 雄

昭和三九年卒

## 吉 田 清 志

昭和三九年卒

## 早 川 清 二

昭和三九年卒

## 山 崎 泰 雄

昭和三九年卒

## 吉 田 清 志

昭和三九年卒

## 早 川 清 二

昭和三九年卒

## 山 崎 泰 雄

昭和三九年卒

## 吉 田 清 志

昭和三九年卒

## 早 川 清 二

昭和三九年卒

## 山 崎 泰 雄

昭和三九年卒

## 吉 田 清 志

昭和三九年卒

## 早 川 清 二

昭和三九年卒

## 山 崎 泰 雄

昭和三九年卒

## 吉 田 清 志

昭和三九年卒

## 早 川 清 二

昭和三九年卒

## 山 崎 泰 雄

昭和三九年卒

## 吉 田 清 志

昭和三九年卒

## 早 川 清 二

昭和三九年卒

## 山 崎 泰 雄

昭和三九年卒

## 吉 田 清 志

昭和三九年卒

## 早 川 清 二

昭和三九年卒

## 山 崎 泰 雄

昭和三九年卒

## 吉 田 清 志

昭和三九年卒

## 早 川 清 二

昭和三九年卒

## 山 崎 泰 雄

昭和三九年卒

## 吉 田 清 志

昭和三九年卒

## 早 川 清 二

昭和三九年卒

## 山 崎 泰 雄

昭和三九年卒

## 吉 田 清 志

昭和三九年卒

## 早 川 清 二

昭和三九年卒

## 山 崎 泰 雄

昭和三九年卒

## 吉 田 清 志

昭和三九年卒

## 早 川 清 二

昭和三九年卒

## 山 崎 泰 雄

昭和三九年卒

## 吉 田 清 志

昭和三九年卒

られた松枝先生がお亡くなりにならるという大変悲しい出来事からスタートしました。しかし現在は新しく山中先生が赴任なされ、山中先生を中心に新生バレーボー部として日々練習に励んでいます。現在部員は32名で、技術・体力・精神力を鍛えながら、上位進出を目指しています。松枝先生が築かれた四十年にわたる伝統の灯を消さないよう、これからも頑張っていきたいと思います。

## コンピューター部

我々コンピューター部は今年七十人を超す超巨大な部になりました。活動といいますと二学期では文化祭準備と、そこで、MIDI(音楽)、CG(絵)、クイズ、そしてもちろんゲームなど、素人とは思えないものを制作します。文化祭においてMIDIでは我らコンピューター部のエース・キノピューターミュージックとの夢の共演を実現いたしました。

## マンドリン部

今年で創立39年目となりました。高3歓送会、新生歓迎会でわれた第二回全国高等学校ギター・マンドリンフェスティバルでは優秀賞と大阪市長賞、文部大臣賞を受賞しました。八月には関東高等学校マンドリンクラブの集いに参加し、好評のうちに終わりました。そして文化祭での演奏と続き、一年のしめくくりとして定期演奏会を迎えた。「文部大臣賞」の名に恥じぬ

ように日夜練習に励んでいます。

今、はやりのOUT DOORをENJOYしたい我々に最適な部活であります。活動することはただ山に登ることだけなのでどんな人でもOK。でも、少しお金がかかるかなあ。ぼく達の山への熱い気持ちでそんなことは問題ではない。ふだんの活動と言えば週に一二、三回トレーニングするだけ。山岳部に入つて得することはやはり月に一度の山行、そしてメインの合宿。顧問もやさしく、明るく楽しい山岳部です。

## 剣道部

剣道部は、高3が卒業し、新人部員が入ったものの、中学生22人・高校生12人と高校生の部員数が大幅に減少した。それに拘わらず、顧問、監督、またかつての強かった時代のOBのご指導を受け、質の高い練習をしている。実力は、はつきりいて強いとはいえないが、年間にわたる厳しい稽古を通じて、礼儀や体力、精神力や集中力など、様々なものを身につけることが出来る。

## 物理部

こんには! HAPPY

ハッピーリー物理部です。今、どんな部かというのは顧問の先生を見れば分かるでしょ。ただ変わった人が多いってことです。

また、スポーツもやってるかもしれません。現在どんな事をやってるかと一言で言えば物理的機械工作。オーディオ班、物理実験

班、電子工学班、無線班、パソコン研究班の五つの班に分かれています。校内で一番のマンモスクラブ、心と体を鍛えるのを目標に活動しています。

## 将棋部

我が部は週三回(月、火、金曜)活動を行っています。強い人、弱い人いろいろいるのですが、今年は都大会の団体戦で準優勝という、いつにない健闘をする事ができました。来年は、「打倒麻布!」を目指してがんばるつもりです。活動内容ですが、三日共ABCに分けての総当たりやトーナメントなどやっており、実践感覚をやしなっていきます。

## 高校軟式野球部

ぼくたち高校軟式野球部は、日夜練習に取り組んでいます。最近では、春季大会で一、二回戦はコールド勝ち、三回戦では惜しくも負けたものの、それをステップにして夏季大会へ向けています。部員数は、高一が三名、高二が二名、高三が一名、計四八名とたくさんいます。しかし、足並を乱す者はなく、苦しさの中から楽しさが見えてます。

## 高校硬式野球部

我が硬式野球部は過去に春四回、夏三回の甲子園出場経験を誇る都内でも有数の名門野球部です。練習は調布市のつつじヶ丘グランドで行っています。メニューはバッティング、守備の練習が中心ですが、技術の向上ばかりでなく精神的な面も鍛えているので、練習の厳しさや帰りが遅くなる事にも弱音を吐く者もいません。チーム一丸となつて夏の選手権大会出場を目指し、練習に励んでいます。

## 柔道部

毎週月・水・金の三日間、一号館屋上天文観測室で活動を行っています。内容は、天文の知識向上を目標とする勉強日、部員全員による文化祭に向けて意見を活発に出し合うミーティング日、そして部員同士の交流を図る運動日、という風に三つに分かれています。

## 天文部

(有)中商 安中新吾	〒110台東区下谷三一四一五 二六二五三八四八	木下良一	〒131墨田区向島五ー三一五 三六二三一三八五〇	割烹美家古
藤川商店 藤川靖夫	〒104中央区八丁堀二一六一四 三五五一七七六四	木坂修	〒116荒川区南千住七ー三一六 三八〇二一四二〇	レストランキングステーブル
日本電工(株) 井上純一	〒152自黒区碑文谷二十一二三 三七一四一五六二二	中井康人	〒150渋谷区神宮前六三十一二千二 三四〇九一七六三三	総合教育企画(株)
丸水商店 小川秀次	〒136江東区新木場一十九一六 三五三二一八八〇一	菊本哲也	〒110台東区浅草橋二一五ー一 三八六一七五四一	福田隆二
丸水商店 菊地博道	〒130墨田区錦糸一三三一 三八七一五四二七	角田敏彦	〒103中央区日本橋人形町一一二一五 三六六九一四四九三	亀井肇
豆幸木下商店 木坂	〒131墨田区向島五ー三一五 三六二三一三八五〇	包むから魅せるまで	〒116荒川区南千住七ー三一六 三八〇二一四二〇	代表幹事 菊地博道
中井商店 中井	〒150渋谷区神宮前六三十一二千二 三四〇九一七六三三	株式会社ソノダ	〒116荒川区南千住七ー三一六 三八〇二一四二〇	尾島育四郎
中井商店 福田	〒104中央区京橋二一三一 三〇一六一三五二五	中井商店	〒110台東区下谷三一四一五 二六二五三八四八	三徳印刷
丸水商店 木坂	〒130墨田区錦糸一三三一 三八七一五四二七	菊本紙業	〒110台東区千歳二一四一四 三六三一一〇七六	昭和四十一年卒
丸水商店 木坂	〒130墨田区錦糸一三三一 三八七一五四二七	菊本哲也	〒110台東区千歳二一四一四 三六三一一〇七六	会長 亀井肇
丸水商店 木坂	〒130墨田区錦糸一三三一 三八七一五四二七	菊本紙業	〒110台東区千歳二一四一四 三六三一一〇七六	会長 亀井肇
丸水商店 木坂	〒130墨田区錦糸一三三一 三八七一五四二七	菊本哲也	〒110台東区千歳二一四一四 三六三一一〇七六	会長 亀井肇
丸水商店 木坂	〒130墨田区錦糸一三三一 三八七一五四二七	菊本紙業	〒110台東区千歳二一四一四 三六三一一〇七六	会長 亀井肇
丸水商店 木坂	〒130墨田区錦糸一三三一 三八七一五四二七	菊本哲也	〒110台東区千歳二一四一四 三六三一一〇七六	会長 亀井肇
丸水商店 木坂	〒130墨田区錦糸一三三一 三八七一五四二七	菊本紙業	〒110台東区千歳二一四一四 三六三一一〇七六	会長 亀井肇
丸水商店 木坂	〒130墨田区錦糸一三三一 三八七一五四二七	菊本哲也	〒110台東区千歳二一四一四 三六三一一〇七六	会長 亀井肇
丸水商店 木坂	〒130墨田区錦糸一三三一 三八七一五四二七	菊本紙業	〒110台東区千歳二一四一四 三六三一一〇七六	会長 亀井肇
丸水商店 木坂	〒130墨田区錦糸一三三一 三八七一五四二七	菊本哲也	〒110台東区千歳二一四一四 三六三一一〇七六	会長 亀井肇
丸水商店 木坂	〒130墨田区錦糸一三三一 三八七一五四二七	菊本紙業	〒110台東区千歳二一四一四 三六三一一〇七六	会長 亀井肇
丸水商店 木坂	〒130墨田区錦糸一三三一 三八七一五四二七	菊本哲也	〒110台東区千歳二一四一四 三六三一一〇七六	会長 亀井肇
丸水商店 木坂	〒130墨田区錦糸一三三一 三八七一五四二七	菊本紙業	〒110台東区千歳二一四一四 三六三一一〇七六	会長 亀井肇
丸水商店 木坂	〒130墨田区錦糸一三三一 三八七一五四二七	菊本哲也	〒110台東区千歳二一四一四 三六三一一〇七六	会長 亀井肇
丸水商店 木坂	〒130墨田区錦糸一三三一 三八七一五四二七	菊本紙業	〒110台東区千歳二一四一四 三六三一一〇七六	会長 亀井肇
丸水商店 木坂	〒130墨田区錦糸一三三一 三八七一五四二七	菊本哲也	〒110台東区千歳二一四一四 三六三一一〇七六	会長 亀井肇
丸水商店 木坂	〒130墨田区錦糸一三三一 三八七一五四二七	菊本紙業	〒110台東区千歳二一四一四 三六三一一〇七六	会長 亀井肇
丸水商店 木坂	〒130墨田区錦糸一三三一 三八七一五四二七	菊本哲也	〒110台東区千歳二一四一四 三六三一一〇七六	会長 亀井肇
丸水商店 木坂	〒130墨田区錦糸一三三一 三八七一五四二七	菊本紙業	〒110台東区千歳二一四一四 三六三一一〇七六	会長 亀井肇
丸水商店 木坂	〒130墨田区錦糸一三三一 三八七一五四二七	菊本哲也	〒110台東区千歳二一四一四 三六三一一〇七六	会長 亀井肇
丸水商店 木坂	〒130墨田区錦糸一三三一 三八七一五四二七	菊本紙業	〒110台東区千歳二一四一四 三六三一一〇七六	会長 亀井肇
丸水商店 木坂	〒130墨田区錦糸一三三一 三八七一五四二七	菊本哲也	〒110台東区千歳二一四一四 三六三一一〇七六	会長 亀井肇
丸水商店 木坂	〒130墨田区錦糸一三三一 三八七一五四二七	菊本紙業	〒110台東区千歳二一四一四 三六三一一〇七六	会長 亀井肇
丸水商店 木坂	〒130墨田区錦糸一三三一 三八七一五四二七	菊本哲也	〒110台東区千歳二一四一四 三六三一一〇七六	会長 亀井肇
丸水商店 木坂	〒130墨田区錦糸一三三一 三八七一五四二七	菊本紙業	〒110台東区千歳二一四一四 三六三一一〇七六	会長 亀井肇
丸水商店 木坂	〒130墨田区錦糸一三三一 三八七一五四二七	菊本哲也	〒110台東区千歳二一四一四 三六三一一〇七六	会長 亀井肇
丸水商店 木坂	〒130墨田区錦糸一三三一 三八七一五四二七	菊本紙業	〒110台東区千歳二一四一四 三六三一一〇七六	会長 亀井肇
丸水商店 木坂	〒130墨田区錦糸一三三一 三八七一五四二七	菊本哲也	〒110台東区千歳二一四一四 三六三一一〇七六	会長 亀井肇
丸水商店 木坂	〒130墨田区錦糸一三三一 三八七一五四二七	菊本紙業	〒110台東区千歳二一四一四 三六三一一〇七六	会長 亀井肇
丸水商店 木坂	〒130墨田区錦糸一三三一 三八七一五四二七	菊本哲也	〒110台東区千歳二一四一四 三六三一一〇七六	会長 亀井肇
丸水商店 木坂	〒130墨田区錦糸一三三一 三八七一五四二七	菊本紙業	〒110台東区千歳二一四一四 三六三一一〇七六	会長 亀井肇
丸水商店 木坂	〒130墨田区錦糸一三三一 三八七一五四二七	菊本哲也	〒110台東区千歳二一四一四 三六三一一〇七六	会長 亀井肇
丸水商店 木坂	〒130墨田区錦糸一三三一 三八七一五四二七	菊本紙業	〒110台東区千歳二一四一四 三六三一一〇七六	会長 亀井肇
丸水商店 木坂	〒130墨田区錦糸一三三一 三八七一五四二七	菊本哲也	〒110台東区千歳二一四一四 三六三一一〇七六	会長 亀井肇
丸水商店 木坂	〒130墨田区錦糸一三三一 三八七一五四二七	菊本紙業	〒110台東区千歳二一四一四 三六三一一〇七六	会長 亀井肇
丸水商店 木坂	〒130墨田区錦糸一三三一 三八七一五四二七	菊本哲也	〒110台東区千歳二一四一四 三六三一一〇七六	会長 亀井肇
丸水商店 木坂	〒130墨田区錦糸一三三一 三八七一五四二七	菊本紙業	〒110台東区千歳二一四一四 三六三一一〇七六	会長 亀井肇
丸水商店 木坂	〒130墨田区錦糸一三三一 三八七一五四二七	菊本哲也	〒110台東区千歳二一四一四 三六三一一〇七六	会長 亀井肇
丸水商店 木坂	〒130墨田区錦糸一三三一 三八七一五四二七	菊本紙業	〒110台東区千歳二一四一四 三六三一一〇七六	会長 亀井肇
丸水商店 木坂	〒130墨田区錦糸一三三一 三八七一五四二七	菊本哲也	〒110台東区千歳二一四一四 三六三一一〇七六	会長 亀井肇
丸水商店 木坂	〒130墨田区錦糸一三三一 三八七一五四二七	菊本紙業	〒110台東区千歳二一四一四 三六三一一〇七六	会長 亀井肇
丸水商店 木坂	〒130墨田区錦糸一三三一 三八七一五四二七	菊本哲也	〒110台東区千歳二一四一四 三六三一一〇七六	会長 亀井肇
丸水商店 木坂	〒130墨田区錦糸一三三一 三八七一五四二七	菊本紙業	〒110台東区千歳二一四一四 三六三一一〇七六	会長 亀井肇
丸水商店 木坂	〒130墨田区錦糸一三三一 三八七一五四二七	菊本哲也	〒110台東区千歳二一四一四 三六三一一〇七六	会長 亀井肇
丸水商店 木坂	〒130墨田区錦糸一三三一 三八七一五四二七	菊本紙業	〒110台東区千歳二一四一四 三六三一一〇七六	会長 亀井肇
丸水商店 木坂	〒130墨田区錦糸一三三一 三八七一五四二七	菊本哲也	〒110台東区千歳二一四一四 三六三一一〇七六	会長 亀井肇
丸水商店 木坂	〒130墨田区錦糸一三三一 三八七一五四二七	菊本紙業	〒110台東区千歳二一四一四 三六三一一〇七六	会長 亀井肇
丸水商店 木坂	〒130墨田区錦糸一三三一 三八七一五四二七	菊本哲也	〒110台東区千歳二一四一四 三六三一一〇七六	会長 亀井肇
丸水商店 木坂	〒130墨田区錦糸一三三一 三八七一五四二七	菊本紙業	〒110台東区千歳二一四一四 三六三一一〇七六	会長 亀井肇
丸水商店 木坂	〒130墨田区錦糸一三三一 三八七一五四二七	菊本哲也	〒110台東区千歳二一四一四 三六三一一〇七六	会長 亀井肇
丸水商店 木坂	〒130墨田区錦糸一三三一 三八七一五四二七	菊本紙業	〒110台東区千歳二一四一四 三六三一一〇七六	会長 亀井肇
丸水商店 木坂	〒130墨田区錦糸一三三一 三八七一五四二七	菊本哲也	〒110台東区千歳二一四一四 三六三一一〇七六	会長 亀井肇
丸水商店 木坂	〒130墨田区錦糸一三三一 三八七一五四二七	菊本紙業	〒110台東区千歳二一四一四 三六三一一〇七六	会長 亀井肇
丸水商店 木坂	〒130墨田区錦糸一三三一 三八七一五四二七	菊本哲也	〒110台東区千歳二一四一四 三六三一一〇七六	会長 亀井肇
丸水商店 木坂	〒130墨田区錦糸一三三一 三八七一五四二七	菊本紙業	〒110台東区千歳二一四一四 三六三一一〇七六	会長 亀井肇
丸水商店 木坂	〒130墨田区錦糸一三三一 三八七一五四二七	菊本哲也	〒110台東区千歳二一四一四 三六三一一〇七六	会長 亀井肇
丸水商店 木坂	〒130墨田区錦糸一三三一 三八七一五四二七	菊本紙業	〒110台東区千歳二一四一四 三六三一一〇七六	会長 亀井肇
丸水商店 木坂	〒130墨田区錦糸一三三一 三八七一五四二七	菊本哲也	〒110台東区千歳二一四一四 三六三一一〇七六	会長 亀井肇
丸水商店 木坂	〒130墨田区錦糸一三三一 三八七一五四二七	菊本紙業	〒110台東区千歳二一四一四 三六三一一〇七六	会長 亀井肇
丸水商店 木坂	〒130墨田区錦糸一三三一 三八七一五四二七	菊本哲也	〒110台東区千歳二一四一四 三六三一一〇七六	会長 亀井肇
丸水商店 木坂	〒130墨田区錦糸一三三一 三八七一五四二七	菊本紙業	〒110台東区千歳二一四一四 三六三一一〇七六	会長 亀井肇
丸水商店 木坂	〒130墨田区錦糸一三三一 三八七一五四二七	菊本哲也	〒110台東区千歳二一四一四	



は人数が多かったのです。運動部は希望者が多い。学の明治はどうなるのか。数年前は人数が多かったのです。文化祭の時、六十歳前後の男の人が閉幕部のであると答えた。男は「廃部寸前だな」というようなことを立て立ち去った。嫌なことを言う大人がいるものだと思った。今年は、部員が一人増えたので、四人になった。これで対局も多くなり部活も順調にやっている。

週三日の活動(顧問の先生によるゼミもある)の他、校外見学、夏・春の研修旅行、運動日があり、その研究の成果を文化祭や毎年発行している『歴史通信』に発表しています。すべてはひたむきな研究活動と部員全員の意志団結の強さが部を発展させるものであると確信しています。

昨年の文化祭では、その成果として白雲賞、さらには最優秀賞である紫紺賞までダブル受賞することができました。今年も「堺の歴史」をテーマに頑張っています。

商業研究部の活動は、大きくわけると二つある。一つは簿記の資格をとるために、検定試験の準備をすること、もう一つは毎年研究テーマを決め、それを文化祭で発表して、商業研究部の部誌に載せることがある。

ここ数年、部員が多い年や少ない年があつたり、簿記検定に合格者が出てなかつたりしたが、昨年二級・三級にそれ

の活動に少しづつもどってきている。

現在部員は0名、入部したい人がいれば即座に活動を開始します。

## ボーライスクワット部

宮である。部員全員が中学生であるが、活発な意見交換を行なっている。文化祭での作品発表を最大の目標に、また段や級の取得を励みに日夜努力している明朗な部である。

## 卓球部

我が部は昨年素晴らしい成績を残すことが出来ました。千代田区大会では個人、団体ともに準優勝。ベスト8に四人とこの他にも過去数々の成績を残してきました。が、成績の他にも先輩後輩との縦の関係も良く、のびのびとやっています。活動は日曜を除いた毎日で火・金はトレーニング、その他の日は格技室で練習と中身の濃いメニューとなっています。部員数一九名、台五台となっています。

期待してはいけません。でも、今年度の文化祭において「出張かる解剖」が好評を博し、さらにはメダカの三枚おろしと日頃鍛えたメスさばきを披露しました。その上、六号縫合網糸によるかえるの表皮の縫合をも成功させました。只今そのクラシケは冬眠中です。このよくな実験を通じて我々は、生命的の神秘・尊さを再び認識することができます。

「お線香」は欠かすことなくません

## 生物部

実績……ありませんそんなもの。

期待してはいけません。でも、今年度の文化祭において「出張かる解剖」が好評を博し、さらにはメダカの三枚おろしと日頃鍛えたメスさばきを披露しました。その上、六号縫合網糸によるかえるの表皮の縫合をも成功させました。只今そのクラシケは冬眠中です。このよくな実験を通じて我々は、生命的の神秘・尊さを再び認識することができます。

「お線香」は欠かすことなくません

## 吟詠研究部

吟詠は詩歌や漢詩を歌い、作者の心情や精神的な風土を知り、日本的な歌謡と吟調を学習することにより、部活動では協調性を体得するものです。母校・明高的校風である「質実剛健」の気性を少しでも部員が得るよう「吟調」のテキストを使って朗々と声高らかに練習しています。

吾母校 吟詠研究部 選

吟詠は詩歌や漢詩を歌い、作者の心情や精神的な風土を知り、日本的な歌謡と吟調を学習することにより、部活動では協調性を体得するものです。母校・明高的校風である「質実剛健」の気性を少しでも部員が得るよう「吟調」のテキストを使って朗々と声高らかに練習しています。

吾母校 吟詠研究部 選

明高の健児、剛氣濃やかなり。風雲に刻苦して、雲峰を仰ぐ。独立自治は、眞に吾校。

夢を破つて當に撞くべし正義の鐘。

## 書道部

91年度の書道部は、新中一を一名加え、四名でスタート。趣

味で書道はしても、部活動としては選ばれず、少数精鋭での運

## 化学生部

昨年より、活動場所である化學実驗室が新装オープン致しました。部員一同気持ち新たにして、一年を過して参りました。私達は「安全第一」という言葉を常に念頭におき実験を行っています。従って今年は

安全な実験を行っています。教科書の上の勉強だけが化学ではありません。私達は教科書から

は得られない様々な経験を実験を通じて得たいと思います。

今年度の書道部は、新中一を一名加え、四名でスタート。趣味で書道はしても、部活動としては選ばれず、少数精鋭での運

## 商業研究部

商業研究部の活動は、大きくわけると二つある。一つは簿記の資格をとるために、検定試験の準備をすること、もう一つは毎年研究テーマを決め、それを文化祭で発表して、商業研究部の部誌に載せることがある。

## グリーンジャケット

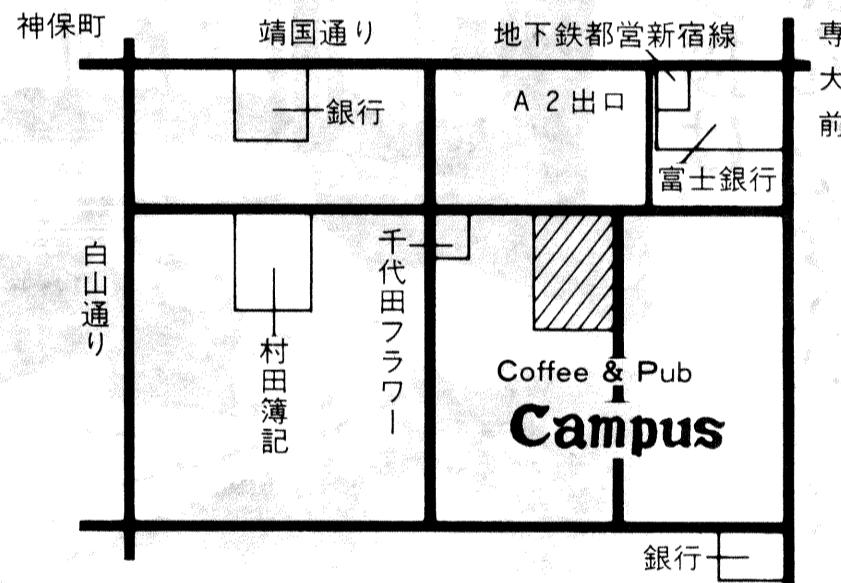
クラブ・シック・クラブ  
ゴルフ・ショップ

TELE 106 港区南麻布四一一一二六  
南麻布ビル

# Campus

## 松林功典

〒101 千代田区神田神保町2-10  
TEL (03)3261-7383



**電光社製版所**

**DENEISHA** 写真製版 ■写植 ■デザイン  
昭和24年卒 代表取締役 山根光藏

〒101 東京都中央区築地4丁目6番5号 築地会館3F  
TEL (03)3542-2557 Fax (03)5565-0690

## 昭和紙商事株式会社

大辻 宏

〒112 東京都中央区日本橋2-27-6  
TEL 03-3862-0261

## 高級硝子食器製造卸



株式会社 大塚硝子店

〒111 台東区蔵前2-15-6 ☎ 03-3862-4091

明治高校同窓会 木場グループ  
(37名)  
(資合製材社)

昭和五八年卒	鴨	小	山	豊	山	金	森	坂	木	松	平	鶴	吉	村	中	村	小	大	細	渡	前	二	大	細	大	落
昭和五七年卒	川	本	東	豊	山	有	井	野	下	坂	有	鶴	村	木	中	村	大	細	渡	前	二	大	細	大	落	
昭和四年卒	鴨	共	木	田	崎	有	晴	庄	有	坂	有	登	村	木	中	村	大	細	渡	前	二	大	細	大	落	
昭和四年卒	佳	哲	木	和	茂	有	比	庄	有	坂	有	心	泰	木	中	村	大	細	渡	前	二	大	細	大	落	
昭和四年卒	明	商	勝	夫	伸	有	彦	太	有	泰	有	彦	太	木	中	村	大	細	渡	前	二	大	細	大	落	
昭和四年卒	鴨	小	山	豊	山	金	森	庄	酒	木	松	平	鶴	吉	村	中	村	大	細	渡	前	二	大	細	大	落
昭和四年卒	川	本	東	豊	山	有	井	野	下	坂	有	登	村	木	中	村	大	細	渡	前	二	大	細	大	落	
昭和四年卒	鴨	共	木	和	茂	有	比	庄	有	坂	有	心	泰	木	中	村	大	細	渡	前	二	大	細	大	落	
昭和四年卒	佳	哲	木	和	茂	有	比	庄	有	坂	有	心	泰	木	中	村	大	細	渡	前	二	大	細	大	落	
昭和四年卒	明	商	勝	夫	伸	有	彦	太	有	泰	有	彦	太	木	中	村	大	細	渡	前	二	大	細	大	落	
昭和四年卒	鴨	小	山	豊	山	金	森	庄	酒	木	松	平	鶴	吉	村	中	村	大	細	渡	前	二	大	細	大	落
昭和四年卒	川	本	東	豊	山	有	井	野	下	坂	有	登	村	木	中	村	大	細	渡	前	二	大	細	大	落	
昭和四年卒	鴨	共	木	和	茂	有	比	庄	有	坂	有	心	泰	木	中	村	大	細	渡	前	二	大	細	大	落	
昭和四年卒	佳	哲	木	和	茂	有	比	庄	有	坂	有	心	泰	木	中	村	大	細	渡	前	二	大	細	大	落	
昭和四年卒	明	商	勝	夫	伸	有	彦	太	有	泰	有	彦	太	木	中	村	大	細	渡	前	二	大	細	大	落	
昭和四年卒	鴨	小	山	豊	山	金	森	庄	酒	木	松	平	鶴	吉	村	中	村	大	細	渡	前	二	大	細	大	落
昭和四年卒	川	本	東	豊	山	有	井	野	下	坂	有	登	村	木	中	村	大	細	渡	前	二	大	細	大	落	
昭和四年卒	鴨	共	木	和	茂	有	比	庄	有	坂	有	心	泰	木	中	村	大	細	渡	前	二	大	細	大	落	
昭和四年卒	佳	哲	木	和	茂	有	比	庄	有	坂	有	心	泰	木	中	村	大	細	渡	前	二	大	細	大	落	
昭和四年卒	明	商	勝	夫	伸	有	彦	太	有	泰	有	彦	太	木	中	村	大	細	渡	前	二	大	細	大	落	
昭和四年卒	鴨	小	山	豊	山	金	森	庄	酒	木	松	平	鶴	吉	村	中	村	大	細	渡	前	二	大	細	大	落
昭和四年卒	川	本	東	豊	山	有	井	野	下	坂	有	登	村	木	中	村	大	細	渡	前	二	大	細	大	落	
昭和四年卒	鴨	共	木	和	茂	有	比	庄	有	坂	有	心	泰	木	中	村	大	細	渡	前	二	大	細	大	落	
昭和四年卒	佳	哲	木	和	茂	有	比	庄	有	坂	有	心	泰	木	中	村	大	細	渡	前	二	大	細	大	落	
昭和四年卒	明	商	勝	夫	伸	有	彦	太	有	泰	有	彦	太	木	中	村	大	細	渡	前	二	大	細	大	落	
昭和四年卒	鴨	小	山	豊	山	金	森	庄	酒	木	松	平	鶴	吉	村	中	村	大	細	渡	前	二	大	細	大	落
昭和四年卒	川	本	東	豊	山	有	井	野	下	坂	有	登	村	木	中	村	大	細	渡	前	二	大	細	大	落	
昭和四年卒	鴨	共	木	和	茂	有	比	庄	有	坂	有	心	泰	木	中	村	大	細	渡	前	二	大	細	大	落	
昭和四年卒	佳	哲	木	和	茂	有	比	庄	有	坂	有	心	泰	木	中	村	大	細	渡	前	二	大	細	大	落	
昭和四年卒	明	商	勝	夫	伸	有	彦	太	有	泰	有	彦	太	木	中	村	大	細	渡	前	二	大	細	大	落	
昭和四年卒	鴨	小	山	豊	山	金	森	庄	酒	木	松	平	鶴	吉	村	中	村	大	細	渡</						

## 昭和39年卒(いいな会)がつとめさせていただきます

本年度の総明会の幹事学年に当たる、昭和38年卒業の同期会は「一一七会」(いいな会)といふ名前がついています。

初めて同期会の集まりを開いたのが1月17日であったこと、この日がたまたま明治高校の創立記念日であること、そして、有名な尾形行雄の「金色夜叉」の主人公の貫一が、必ず疊らせてみせるとお宮に残したセリフ「今月今夜のこの月」が1月17日に当たること・・など。毎年、なつかしい顔を思い出すのにピッタリの1月17日から取った名前で、読み方をしゃれた「いいな会」と呼んでいるものです。

同期会は約5年ごとに開いておりますが、100人を越える出席者があり、かなり盛況となります。また、それ以外にも毎年1

月17日の前後には、何となく誰かが声をかけ、20~30人が集まって、夜のふけるのを忘れて飲み、かつ昔話に花を咲かせています。話題は、ご他聞にもれず、若い時は酒や恋愛論や結婚の話、やがて子供の教育の話、そして最近では、専ら仕事の話、事業の情報交換の場となっています。

## 次年度幹事学年 昭和40年卒業 同期会

### 昭和40年卒業 同期会

第28回総明会幹事学年の大役を、お引受けすることになりました

と尚更で、同期会出席者全員で検討致しました結果、後輩に任せし、逃げ出す訳にも参りませんので「やろう」ということで、お引受けさせていただくことになりました。私共一同申し訳ない

感想を申し上げたいと存じます。感謝を申し上げたいと存じます。又私の運営という大任を無事遂行出来るか不安でございます。又私

共の総会年が母校の創立80年と

せん。頑張ってやらせていただ

## 第27回総明会ホスト学年

に導くべく、現在、準備活動を続けております。

総明会の総会が成功するかどうかは、卒業生の方々にかかると思います。また、奥様の同伴を歓迎いたします。

なお、本年の幹事の役割分担は、左記のとおりです。

代表幹事 武村 隆二  
実行委員

青木 厚	青木義昭	家田通久
内海弘志	大西龍男	大塚茂
海田耀市	金崎幸雄	北村元曠
佐藤信征	佐藤仁	高木重昭
吉田敏夫	横倉光雄	渡辺幸男
内藤義雄	野田彰造	辺田礼秀
前島良彦	前田忠昭	宮地盛幸
宮本廣文	山内 元	吉川忠雄
渡辺誠一	若松弘昌	七尾孝房
蒲生紘一郎	八百板岩男	

会長 堀 健一 岩本 忠  
会計担当 西山光彦 荒 卿彦

きまでの指導の程お願い申し上げます。尚左記のとおり役割分担させて頂きます。

代表幹事 荒木 毅

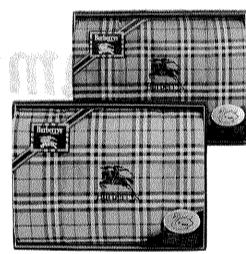
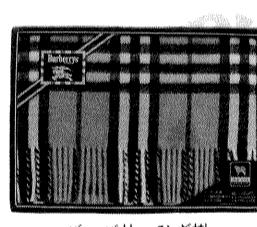
実行委員長 実行副委員長 照田 収三

花岡 伸夫 花岡 吉崎 清人 飯田 宏 荒木 毅

時をつなぐ印です。  
挨拶は、



the gift  
西川の寝装品ギフト



TOKYO NISHIKAWA  
西川産業 〒103 東京都中央区日本橋富沢町8-8  
TEL.03-3664-8161(大代表)

OJI SEITAI

半世紀の伝統・信頼される供給体制

○重包装紙袋

○軽包装袋<「AD-BAG」>

[営業品目] ○ポリエチレン重袋 / ○樹脂クロス袋

○ストレッチ・フィルム / シュリンク・フィルム

○フレキシブル・コンテナ / ○各種包装関連機械



王子製袋株式会社

代表取締役社長 奥田四郎

■本社/〒101 東京都千代田区外神田3丁目6番4号 OSビル

総務人事部/☎ (03) 5294-2931 第一営業本部/☎ (03) 5294-2951

企画管理部/☎ (03) 5294-2936 第二営業本部/☎ (03) 5294-2961

生産本部/☎ (03) 5294-2941 第三営業本部/☎ (03) 5294-2971

■営業所/札幌・青森・秋田・庄内・山形・仙台・新潟・長野・金沢・

名古屋・大阪・新居浜・岡山・門司・福岡・熊本

■工場/江別・秋田・仙台・新潟・埼玉・草加・大阪・新居浜・門司

Asahi  
アサヒビール

キレ味、抜群。  
香り、華やか。



何杯でも豪快に飲める。

アサヒ生ビール Z

アサヒビール株式会社